

地域づくり活動センターに関する市民アンケート結果

地域づくり活動センターに関する市民アンケート

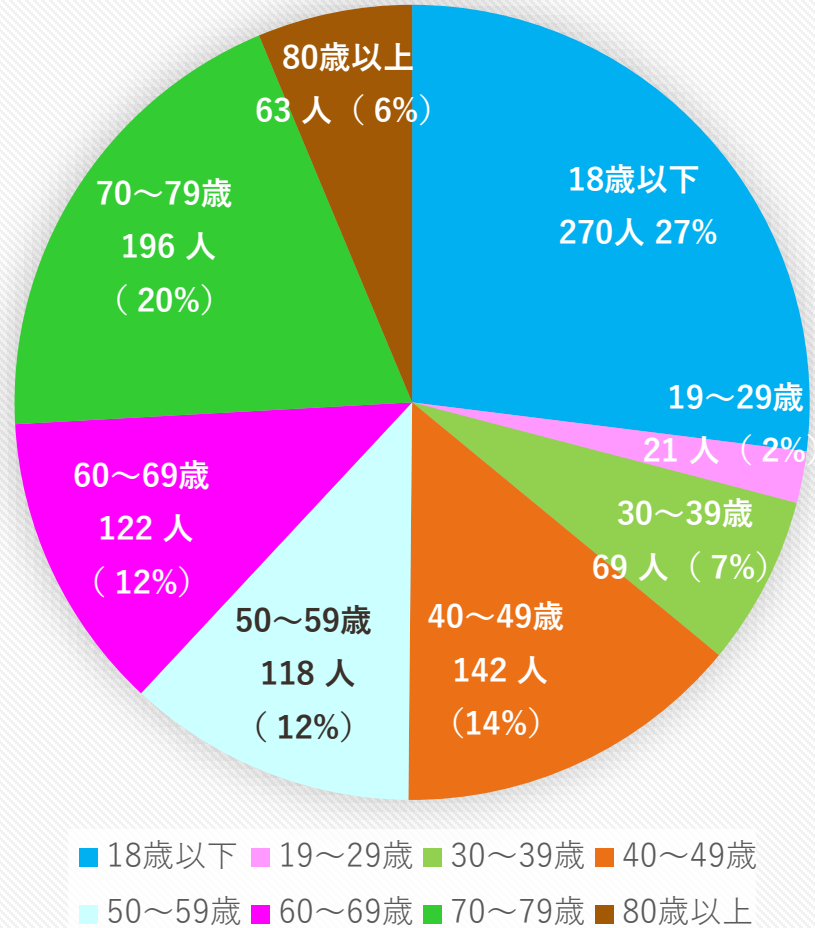
■実施期間

令和6年5月20日から令和6年7月14日まで

■回答数

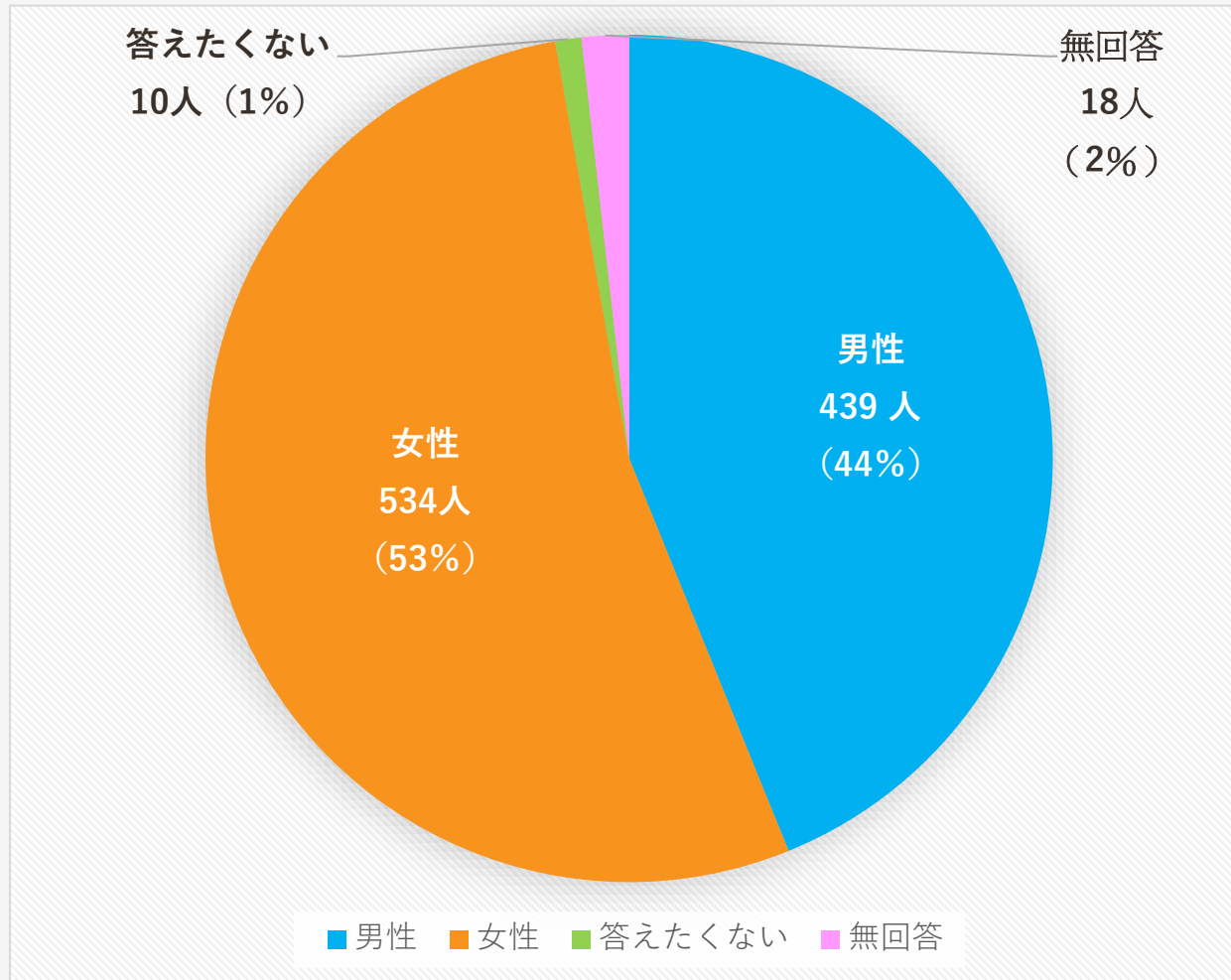
1,001件（Web版515件、紙版486件）

問 1 あなたの年齢を教えてください。



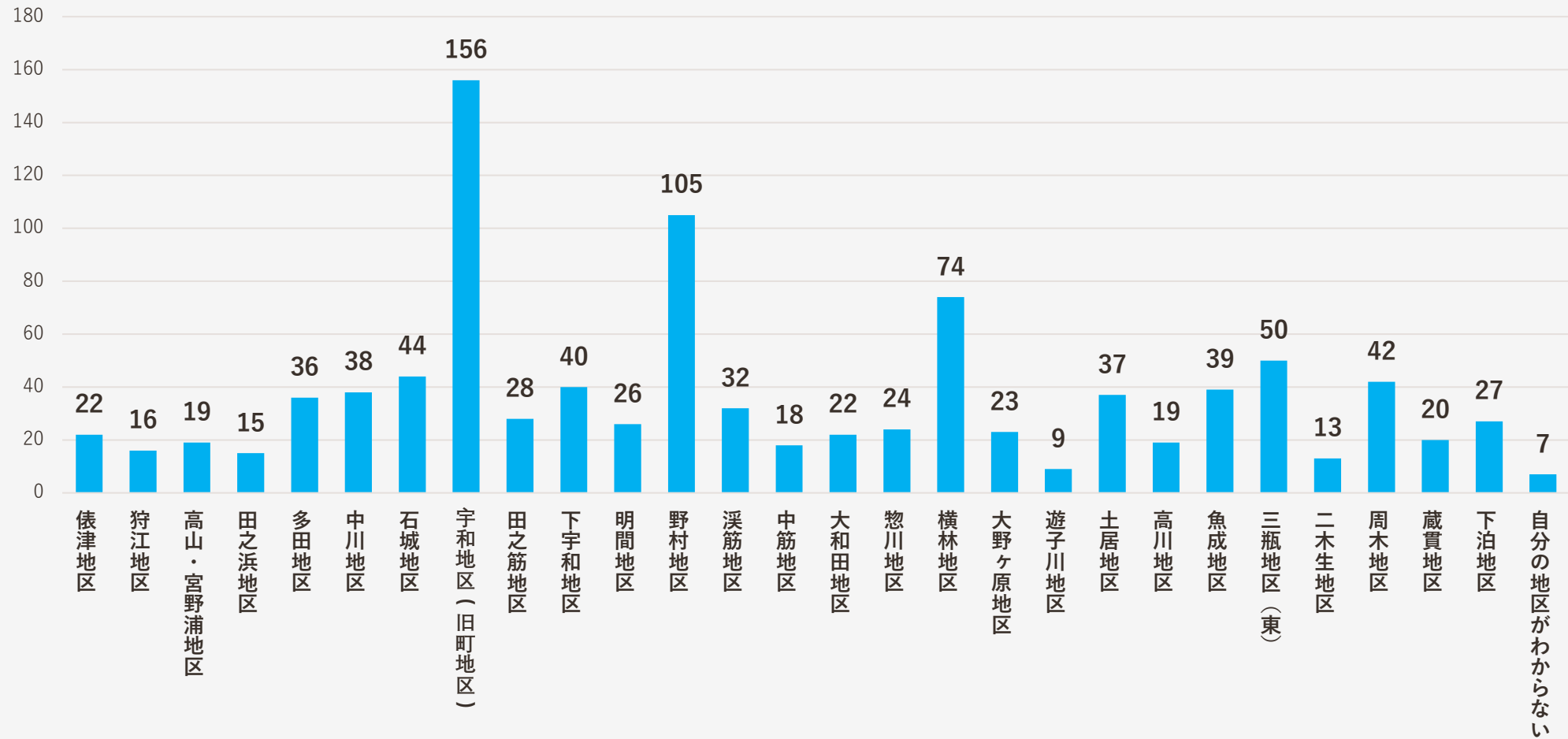
■
市内の高校3年生及び中学3年生に学校を通じてアンケートの依頼を行ったため、回答数が全体の4分の1を占めている。
19～39歳、80歳以上の世代の回答率が少ないが、おおむね平均的な回答数を得ることができている。

問 2 あなたの性別を教えてください。

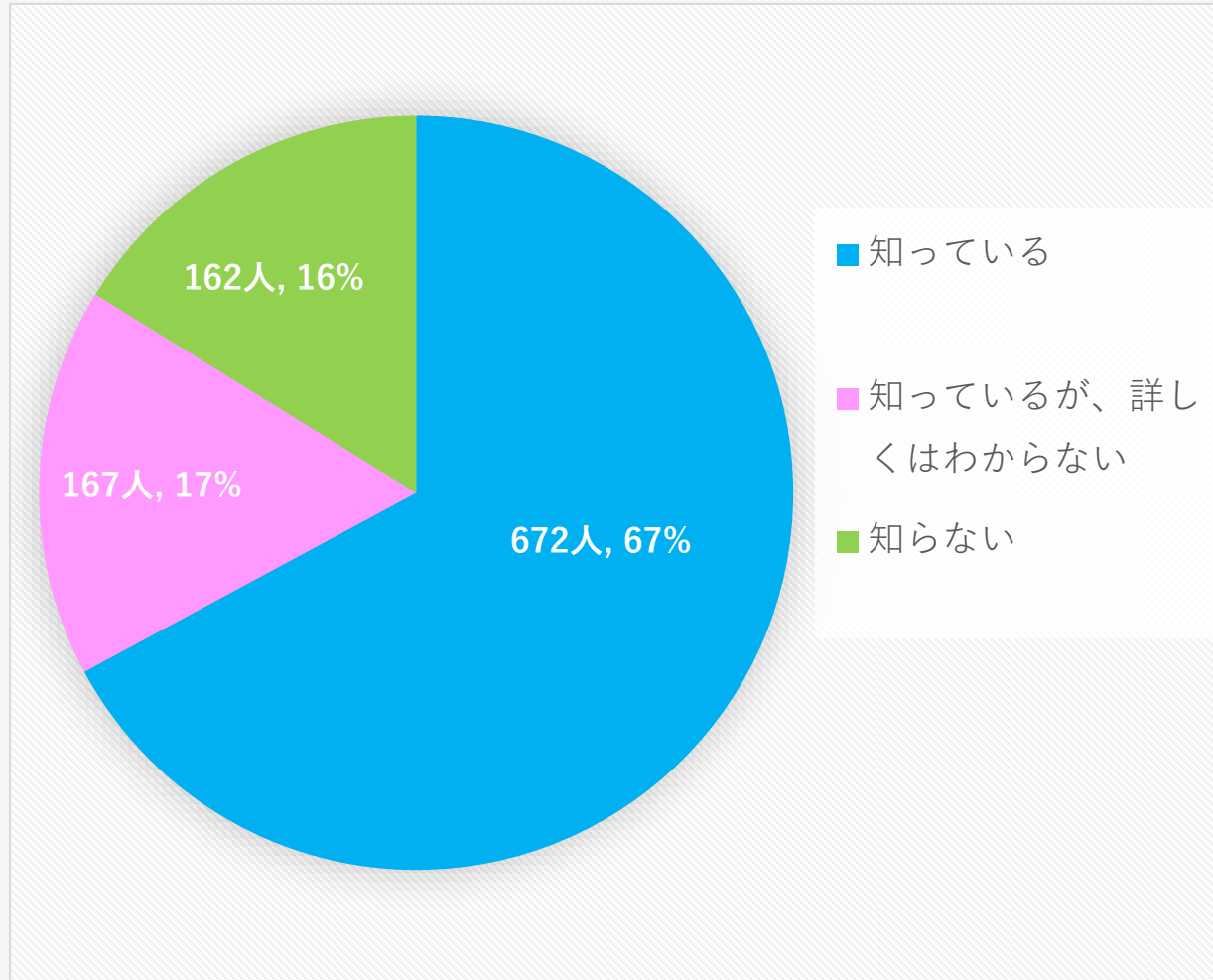


■
男性に比べ、女性の回答数が少し多い結果となった。

問 3 あなたの居住地を教えてください。

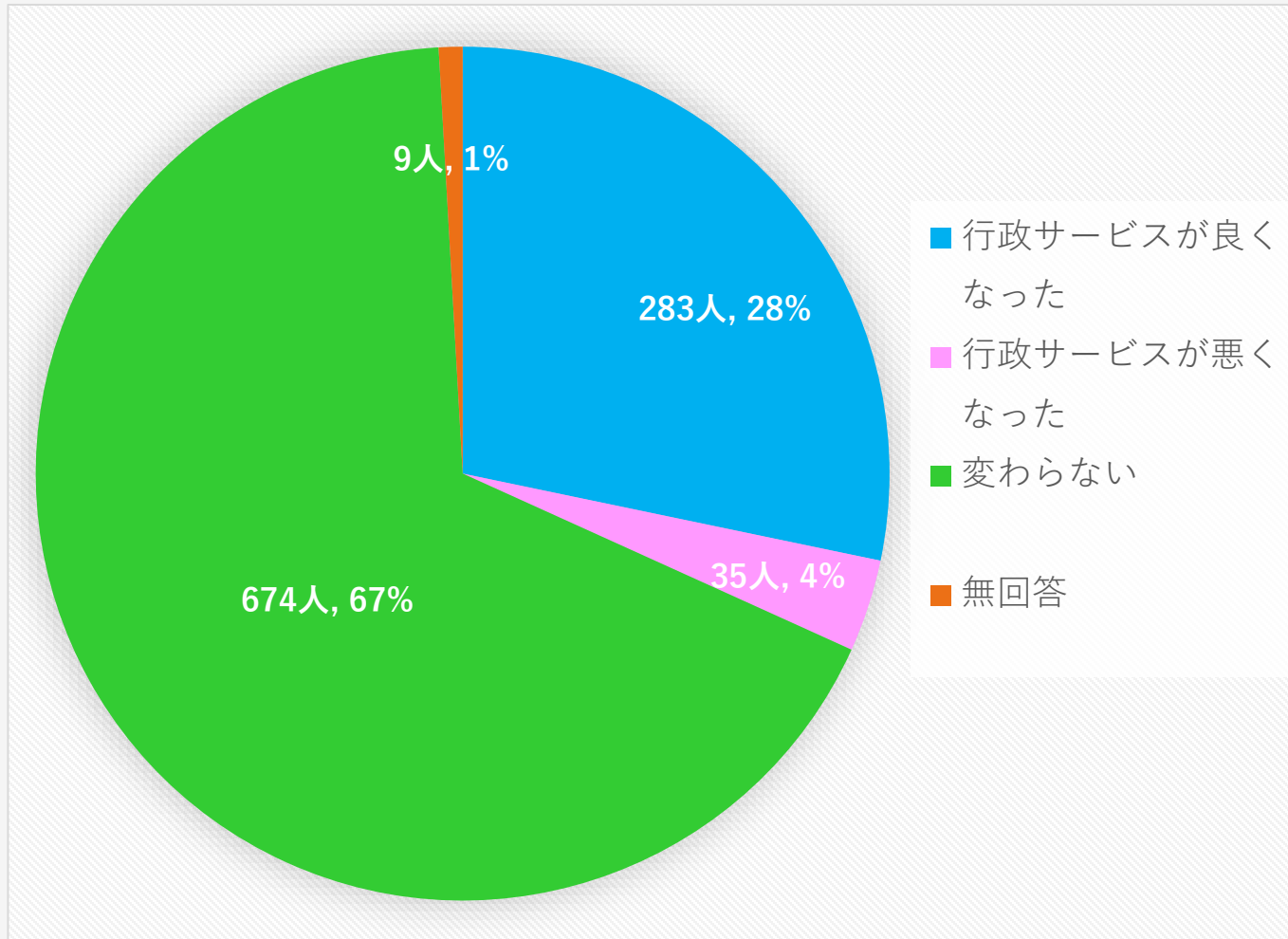


問4 西予市では、公民館から「地域づくり活動センター」に移行しました。 このことを知っていますか？



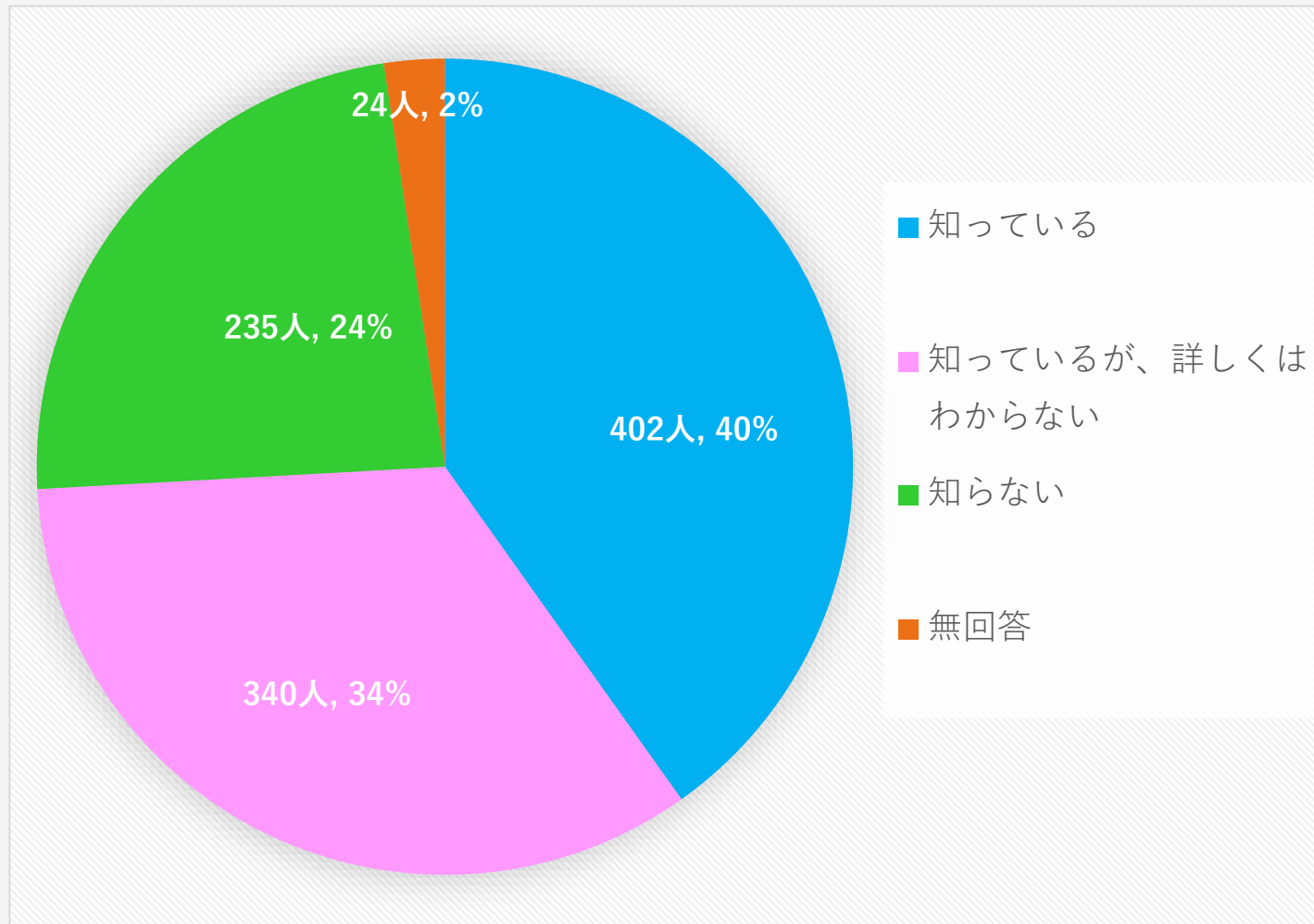
■ 「知らない」と回答された方が約16%と2割弱の方がセンターへの移行を知らないという回答であったが、多くの方が「知っている」もしくは「知っているが、詳しくはわからない」と回答しており、センターへの移行に一定の理解はいただいているという結果であった。

問 5 センターに移行して行政サービスの変化を感じられますか？



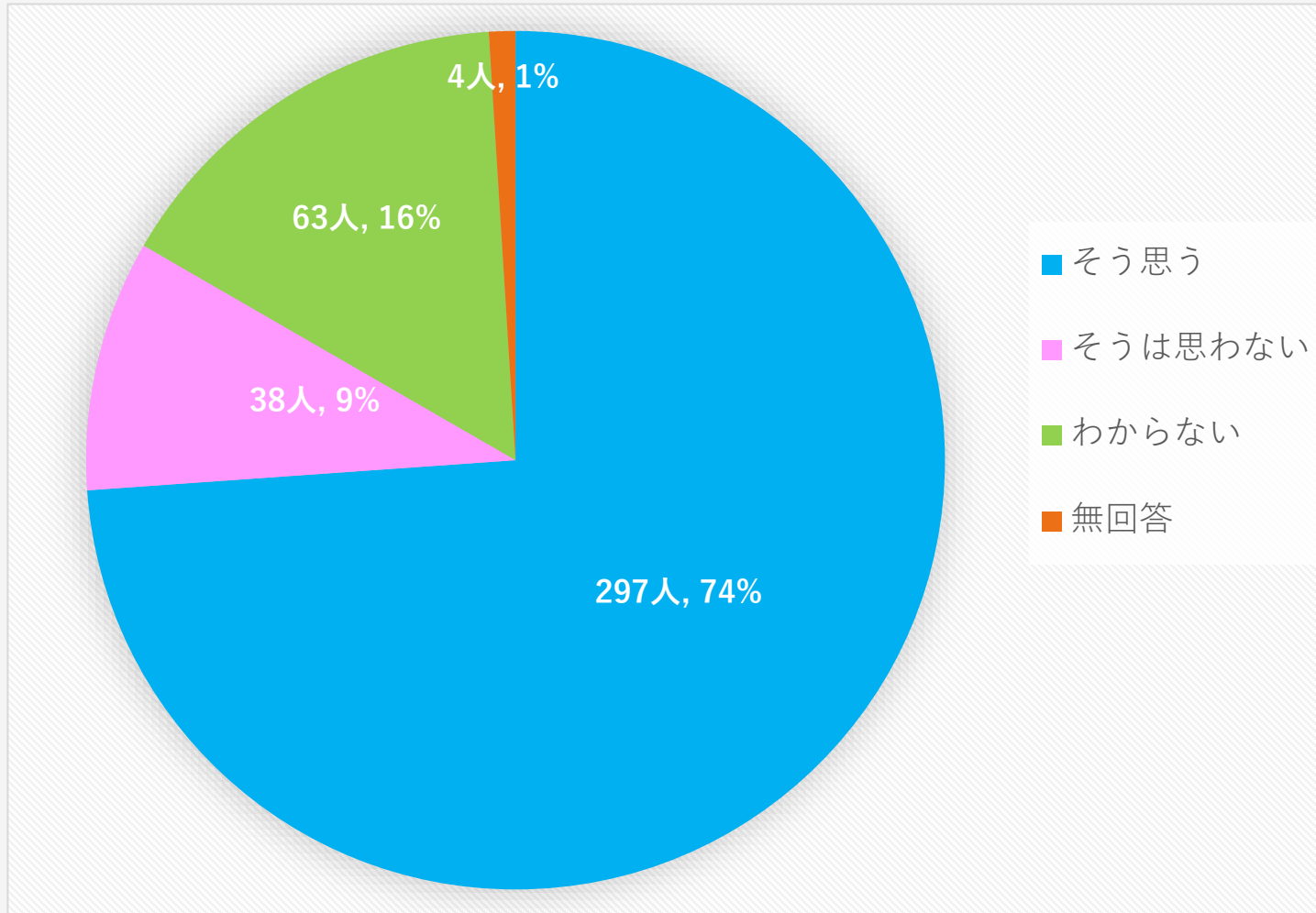
■ センターに移行して1年あまりということもあり、「変わらない」との回答が約2/3を占めたものの、約3割の方がセンターへの移行により「行政サービスが良くなった」と感じられている。

問 6 あなたが住む地域の「地域づくり組織」や活動のことを知っていますか？



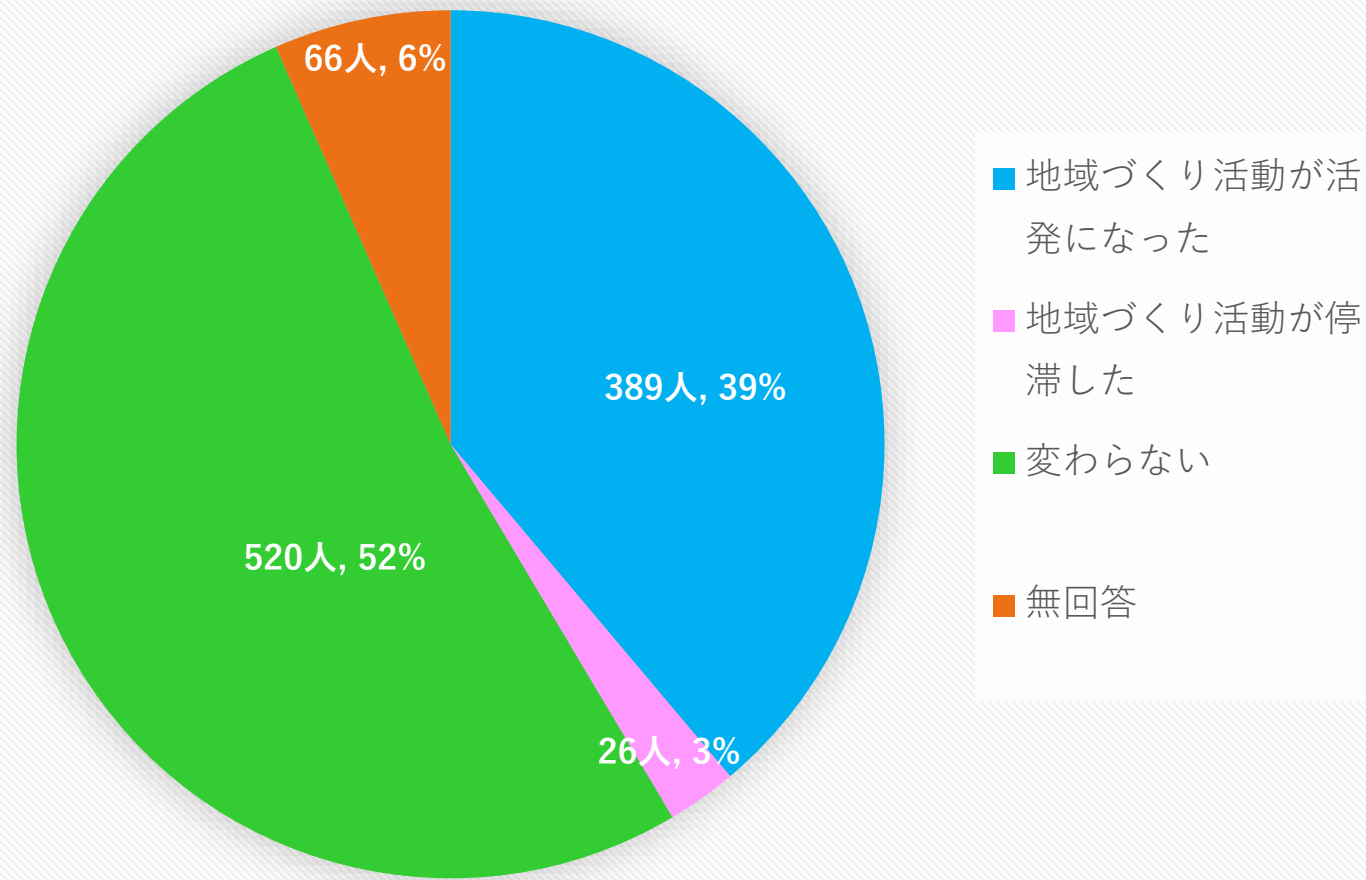
■ 平成23年度から取り組んでいる地域づくり組織の活動について、「知っている」または「知っているが、詳しくはわからない」と回答した方が約74%と3／4近い方が地域づくりで行っている活動について理解されていた。

問 7 前問で「知っている」と回答された方にお聞きします。地域づくり組織で取り組んでいる活動が地域の活性化につながっていると思いますか？



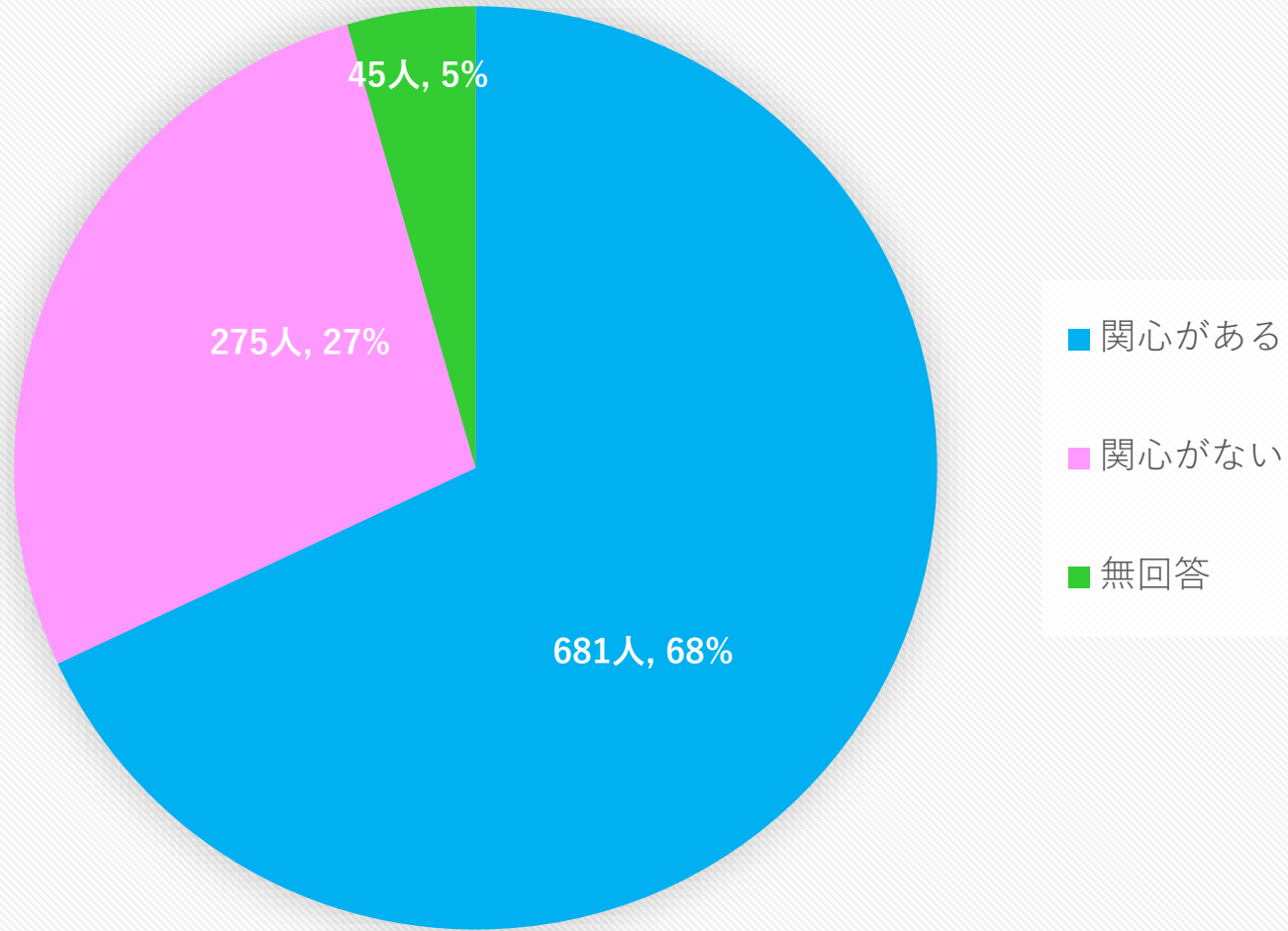
■
地域づくり組織の活動を「知っている」と回答された方の約74%が地域づくり組織で取り組んでいる活動が地域の活性化につながっていると思われるという結果であった。一方約9%の方が地域づくり組織で取り組んでいる活動が地域の活性化につながっていないと思われるという結果であった。

問 8 センターに移行して地域づくり活動の変化を感じられますか？



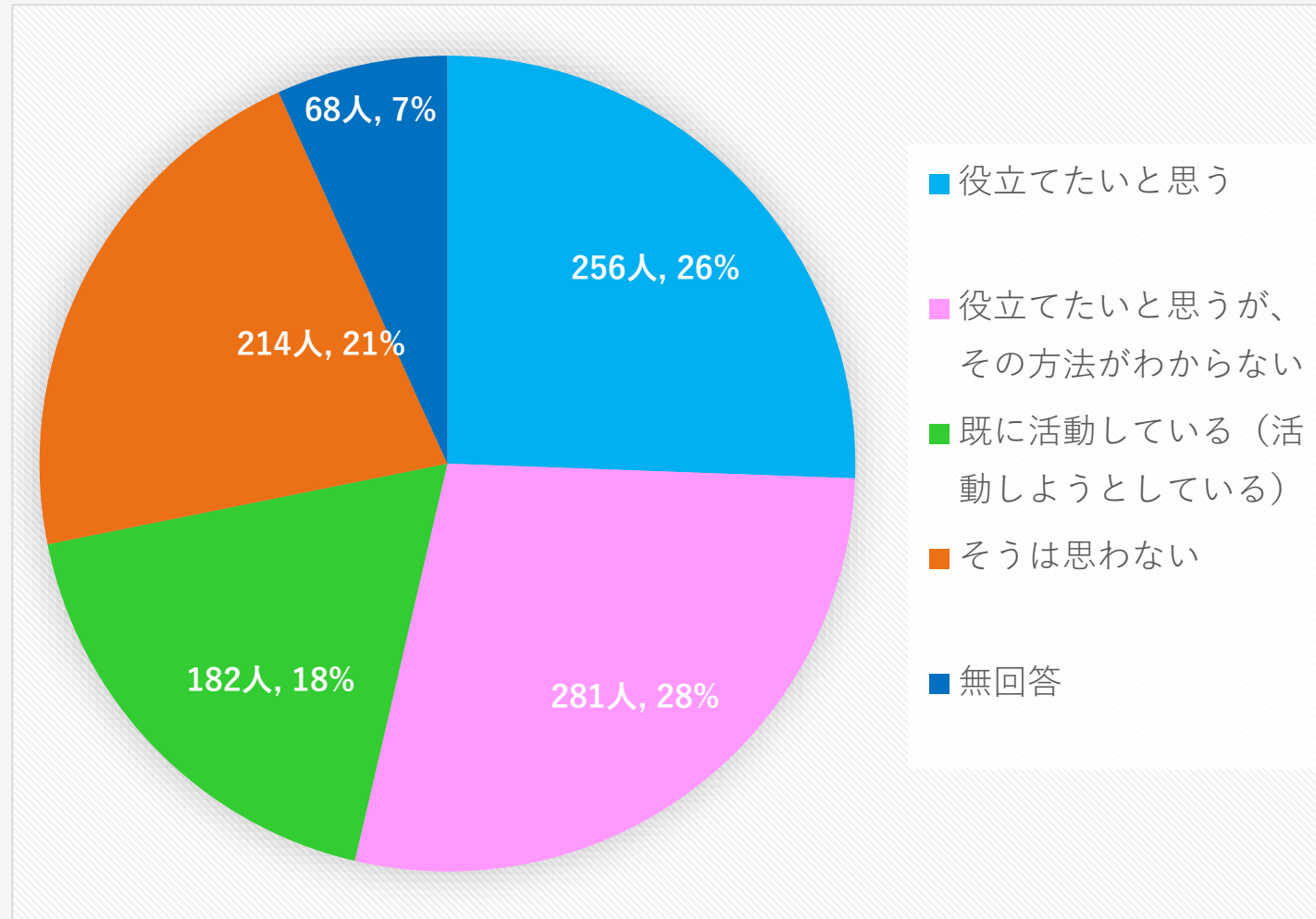
■ センターに移行して1年あまりということもあり、「変わらない」との回答が約半数を占めたものの、約4割の方がセンターへの移行して「地域づくり活動が活発になった」と感じられている。

問9 あなたは、地域づくり活動センターや地域づくり組織、地域の活動について関心がありますか？



■
地域づくり活動センターや地域づくり組織、地域の活動について「関心がある」と答えた方が約68%を占める一方、「関心がない」と答えた方が1／4近い約27%を占めるなど、4人に1人は地域づくり活動センターや地域づくり組織、地域の活動について関心がないという結果となった。

問10 地域をもっと元気にするために、あなたの力を地域貢献に役立てたいと思いますか？



■ 「役立てたいと思う」「役立てたいと思うが、その方法がわからない」「既に活動している（活動しようとしている）」と自分の力を地域貢献に役立てたい（役立てている）と思っている方が約72%を占めている一方、約21%の方が「役立てたいと思わない」との回答であった。

問11 どのような内容で地域に貢献したいですか？

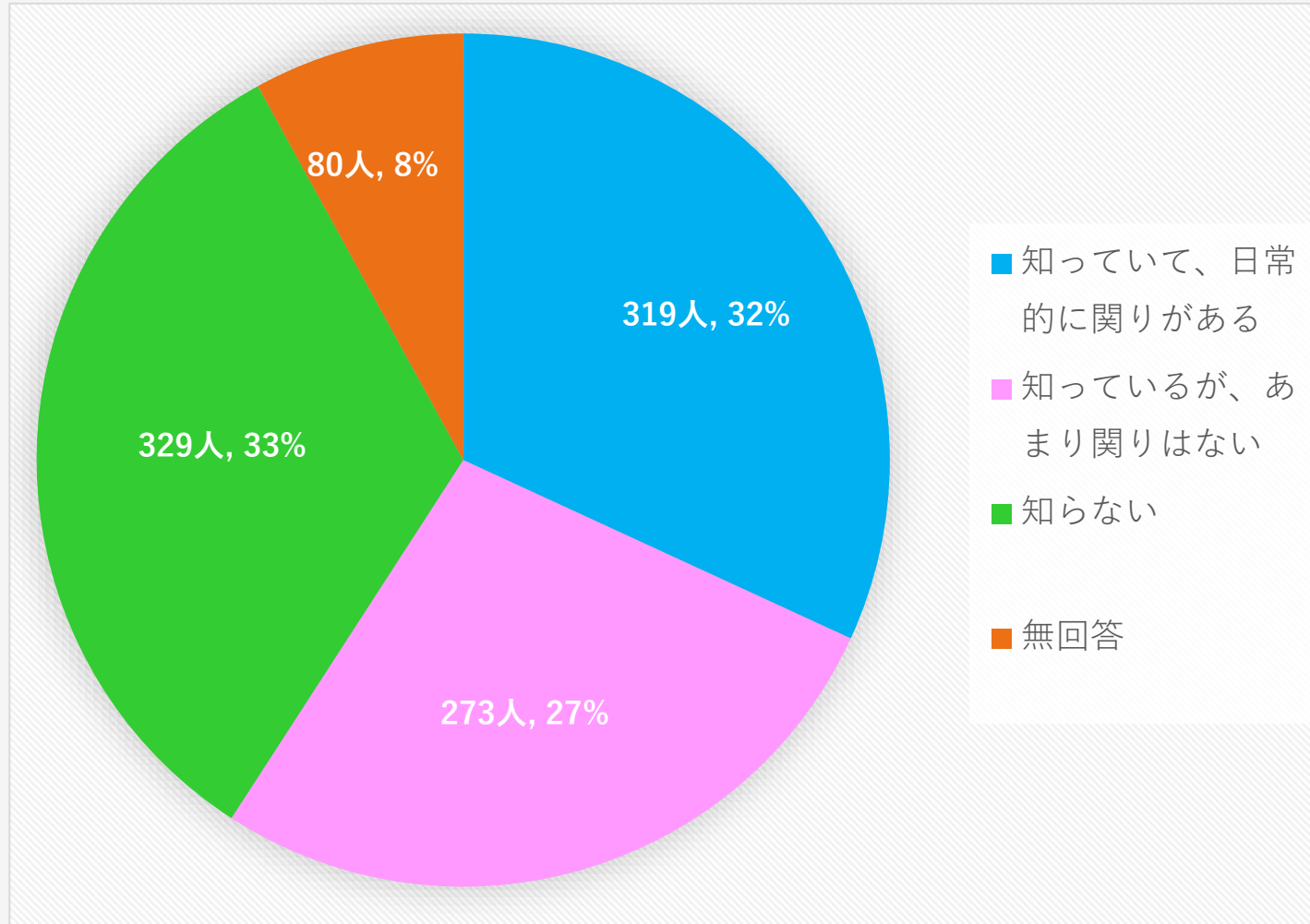
- ・ イベントに参加（企画・準備・運営等のスタッフ）
- ・ 清掃活動や花壇の花植え、読み聞かせなどボランティア活動への参加
- ・ 地域づくり活動への参加や協力
- ・ 地域行事への参加や協力
- ・ お祭りへの参加や協力
- ・ 自分の趣味や特技を生かした協力（電気・ガス・水道関連の修理、料理など）
- ・ スポーツや文化活動、福祉サービス
- ・ 認知症サポーターとして役立てたい
- ・ 医療に携わる者としての地域医療の相談窓口
- ・ 医療や健康づくりに対する啓発活動
- ・ 高齢者に対するイベント対策（軽スポーツや健康づくり組織設立など）
- ・ 小中学生と高齢者、地域の人などとの交流
- ・ 地域おこし協力隊として
- ・ 教育、子育て支援
- ・ 防災
- ・ 食事とデザインと海外交流
- ・ 民宿、民泊、塾などの空き家利用

問11 どのような内容で地域に貢献したいですか？

- ・なんでも
- ・子どもにしかできないこと
- ・子どもたちとの関わりや人をつなぐこと
- ・SNSを活用して、地域のいいところや催しの紹介
- ・広告をつくって、SNSなどで宣伝
- ・地区内だけでなく市内全域へ向けてのPR
- ・地域の歴史的な街並みのPR
- ・学生（高校生以下）への地元アピール
- ・地域が良くなるようなアイデアを出して実現させていく
- ・地域に若者を呼び込む
- ・地域のまちづくり団体に入って活動
- ・地域の巡回など
- ・姫塚を守り、次世代へつなぐ
- ・地域への寄附、募金
- ・地元のお店を利用する
- ・各世代の人をつなぐ
- ・プリンの販売

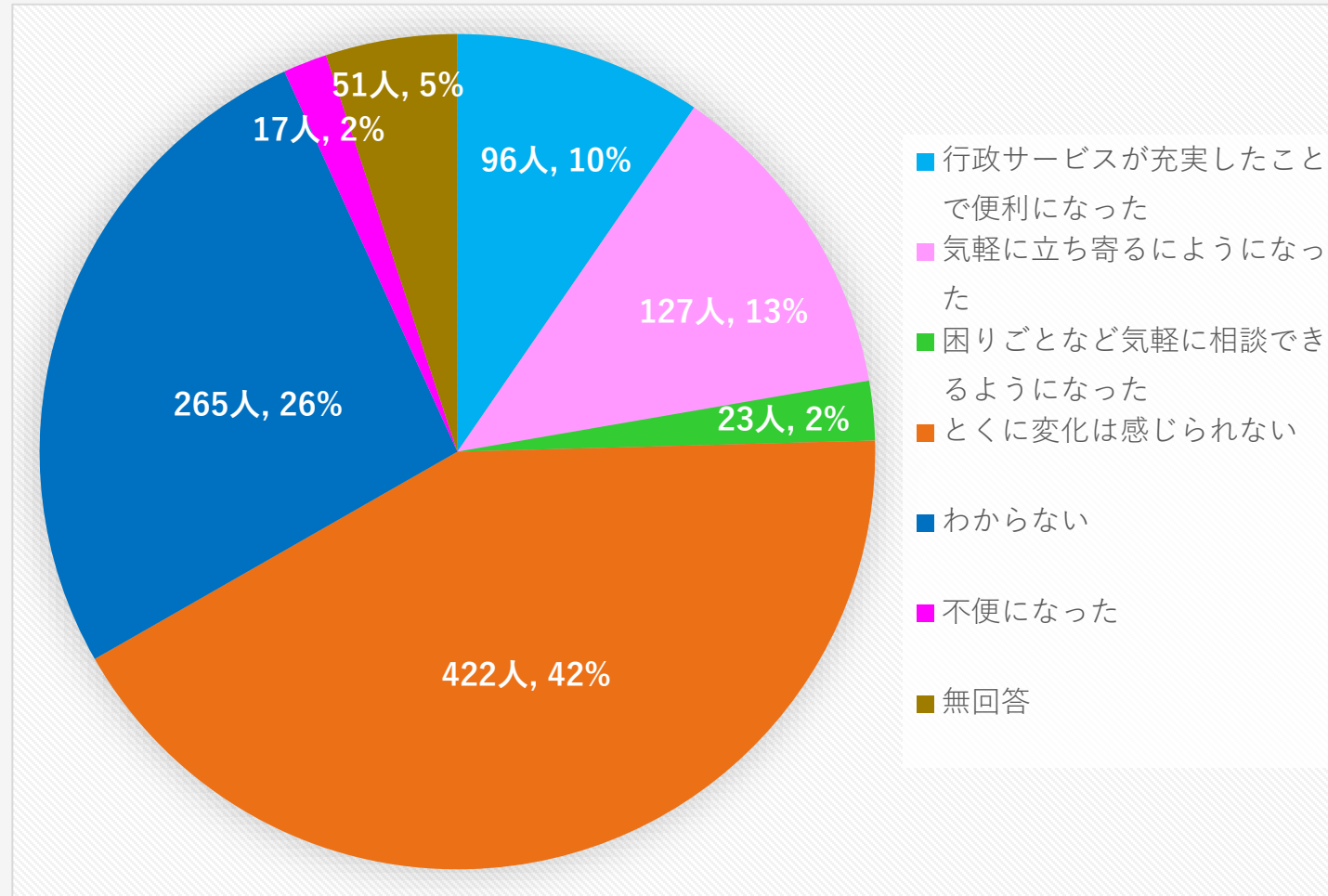
■
イベントや地域行事など地域づくり活動への参加や協力、自分の特技を活用した協力、SNSなどを活用した情報発信などにより地域貢献を行いたいとの回答であった。

問12 あなたの地域の「地域任用職員」のことを知っていますか？



■ 「知っていて、日常的に関りがある」また、「知っているが、あまり関りはない」と回答された方が約59%を占めている一方、「知らない」と回答された方が約33%という結果であった。令和5年4月から地域任用職員を配置して1年以上が経過しているが、「知っているが、あまり関りはない」「知らない」と6割の方が地域任用職員と関わっていないという結果であった。

問13 公民館が地域づくり活動センターに変わったことで、あなたの身近な生活にどのような変化がありましたか？



■ 地域づくり活動センターに移行して「とくに変化は感じられない」と回答された方が約42%と半数近い方は公民館から地域づくり活動センターに移行して変化を感じられていない状況であった。

問14 「不便になった」理由をお聞かせください。

- ・習い事にお金が発生したこと
- ・使用料がかかるようになり考えるようになった。
- ・センターを利用したくても、使用料を考えるようになり、以前のように気軽に使えない。
- ・色々活動出来る事がお金があるようになり不便だと思うようになった。
- ・地域住民が、生きがいを持って活動していた書道教室やヨガ等の活動が市の組織に入らないと減免にならなくなった。生涯学習や生涯スポーツの観点からするとかなり後退した気がする。これでは西予市は公民館の利用者を増やすという目標を掲げながら自ら利用者を減らしている。地域の活性化を謳いながら、社会教育の観点がなおざりになっていて、表向きは活性化しているように見えるが、実際はしぼんでいる。
- ・利用料を取るようになって少ない財源の中でやりくりしてる団体の活動が減った。
- ・地域性を把握した行事を行わないので参加しても面白くない。発展性を全く感じられない。
- ・センターになってから地域住民が置いてけぼりになっている。高齢者が多い地域なのに高齢者の活動できる機会が減っている。季節のイベントで言えば盆踊りも地域の人が気軽に参加できるものではなく、何を目的に実施しているのか分からない。地域の声が反映されない。以前の方が良かった。
- ・仲のいい人達だけが集まってる感が強く、偏りが感じられるためセンター自体に行きづらくなった感じがある。

問14 「不便になった」理由をお聞かせください。

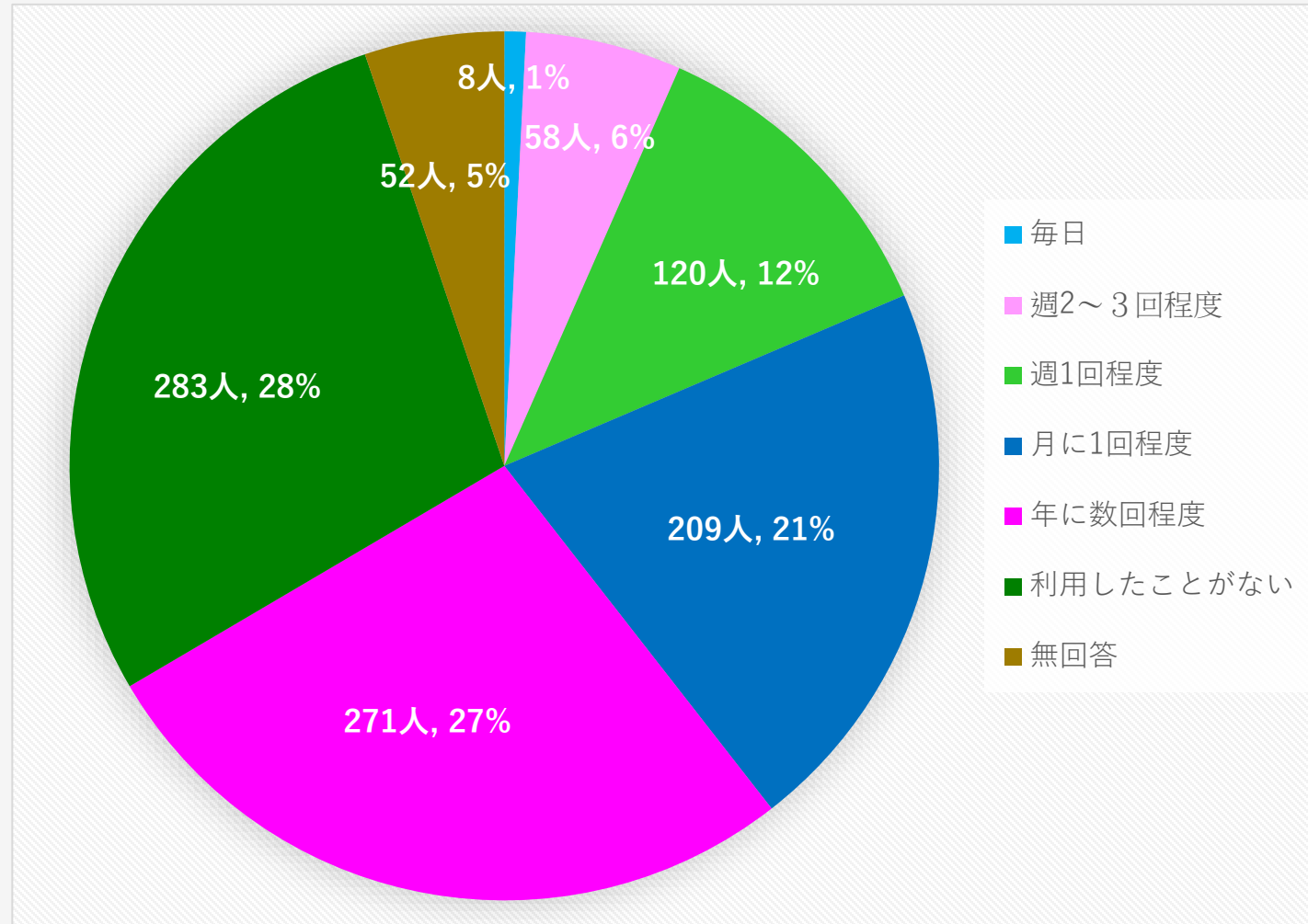
- ・日曜日が休み
- ・歩くには遠くなりました。
- ・夜間本を借りたりできない。

■
公民館から地域づくり活動センターに移行して「不便になった」と回答のあった約2%の方の主な理由は、「使用料が発生することになった」という趣旨であった。

使用料については、市内施設使用料の減免基準を明確化したことによるものであり、センター化への移行に伴うものではないが、理解されていない方が見受けられるため、引き続き使用料の減免については丁寧な説明をしていく必要がある。

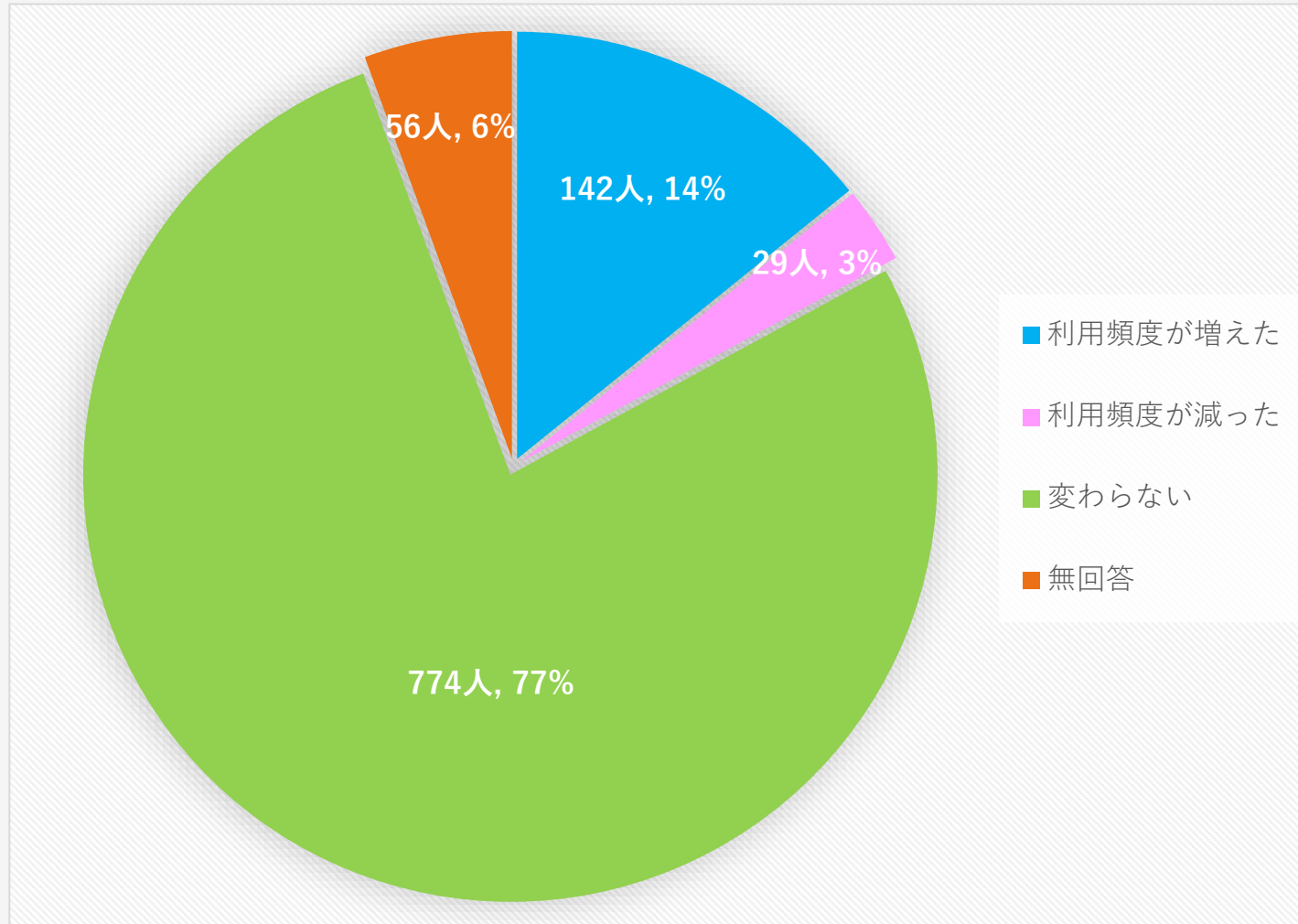
また、開館日や開館時間などが変わったことにより不便になったとの回答もあった。

問15 地域づくり活動センターの利用頻度を教えてください。



■ 「利用したことがない」と回答された方が約28%を占めているものの、利用頻度は様々であるが、約67%の方が地域づくり活動センターを利用されている。

問16 地域づくり活動センターに移行してから、センターの利用頻度は変化しましたか？



■
地域づくり活動センターに移行してから、約77%の方が利用頻度が「変わらない」との回答であった。また、約14%の方が、地域づくり活動センターに移行し「利用頻度が増えた」との回答であった。

問17 「利用頻度が増えた」理由をお聞かせください。

- ・住民票や印鑑証明の発行、公金収納やゴミ袋購入など行政サービスを利用することが多くなった。
- ・本庁や支所へ行かなくてもセンターで済むから。
- ・有害鳥獣駆除の確認のため。
- ・地域づくり活動に参加（プロジェクトのメンバーなど）
- ・地域づくり活動が増えたため（会議、イベントなど）
- ・地域づくり活動のために利用することが多くなった。
- ・地域づくり組織によるコミュニティとしての機能や自主性が増し、地域での話題性も増大し企画も増え、また、できるだけ地元の活動センターの利用を意識するようになった。
- ・体操教室、健康教室、料理教室、ラジオ体操などに参加
- ・趣味の活動で利用することが増えた。
- ・色々な行事に誘われることが多くなった。
- ・興味ある行事（イベント）が増えた。
- ・コロナ後、いろいろな行事が行われるようになった。
- ・カフェの利用（コーヒーが飲めるようになった。）
- ・野菜等の販売ができるようになった。
- ・気軽に利用できるようになった。立ち寄りやすくなった。

問17 「利用頻度が増えた」理由をお聞かせください。

- ・ わからないことや困ったことの相談など
- ・ 困りごとや相談など話しやすい環境がありステキな人や面白い人がたくさん集まっているから元気になれる場所だから。
- ・ 産・官・民が協同できる場として、相談しやすくなったという意識から。
- ・ 地域行事に対応してくれる方がいるので相談しやすくなった。
- ・ 職員の対応がよい、親切。温かい雰囲気ですとてもよい。
- ・ 活動づくりセンターの職員の方が気軽に声を掛けいただくので、敷居が下がった。
- ・ チラシが増えたので利用頻度が増えた。
- ・ 雰囲気が良くて行きやすい。（建物が明るい、キレイ、設備が良くなって過ごしやすいなど）
- ・ 地域の役をしているため
- ・ 声掛けしてもらうから
- ・ 友達と遊ぶようになったから
- ・ 地域おこしの活動が動き出したから
- ・ 今まで公民館がなかったから。
- ・ 近いから

■ 「利用頻度が増えた」理由として、行政サービスの拡充による利用や地域づくり活動への参加などによるものであった。

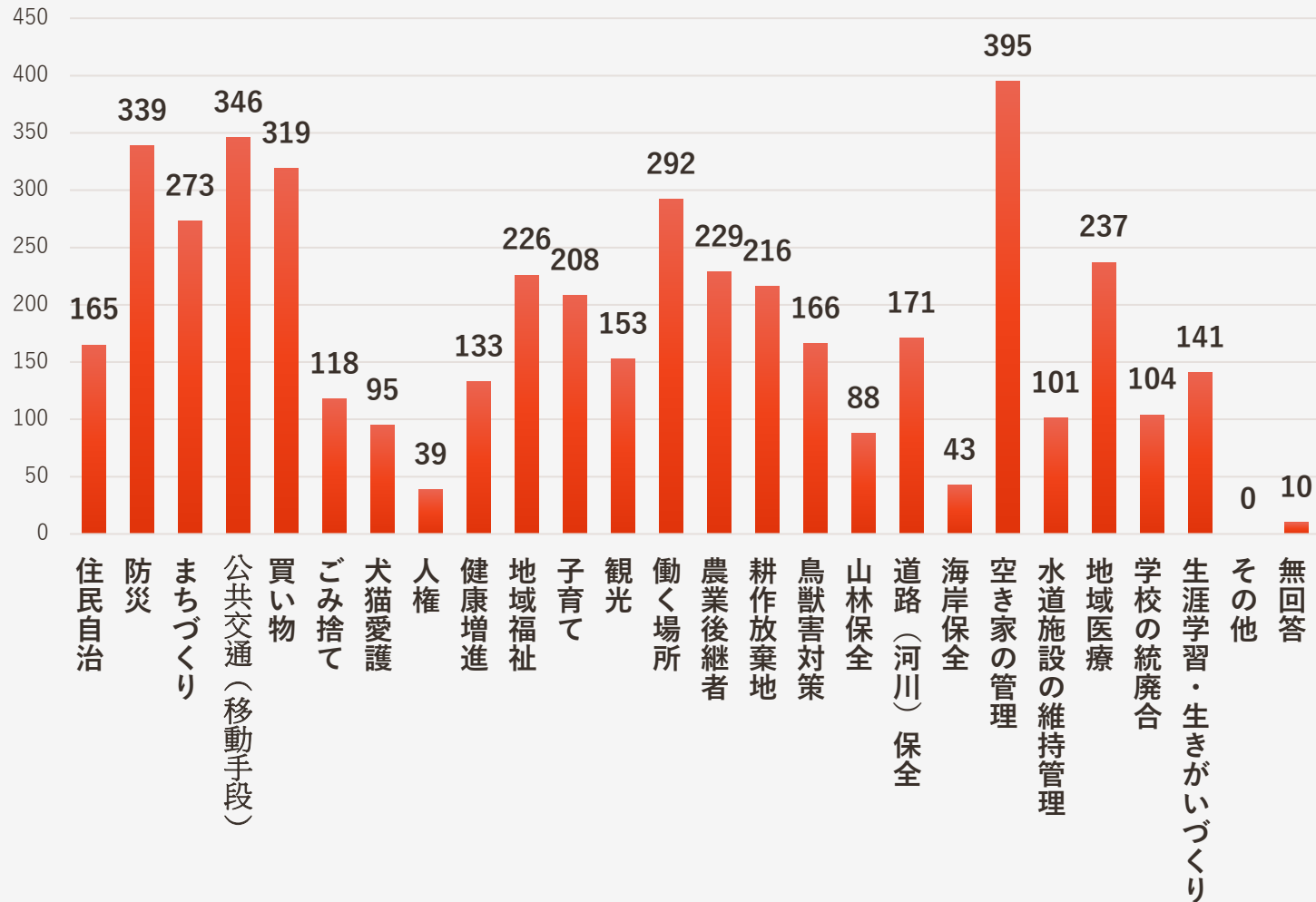
問18 「利用頻度が減った」理由をお聞かせください。

- ・活動内容がわからない。何をしているのかわからない。
- ・あまり関心のある事業がない。
- ・休日施設されるようになり、馴染んでいた公民館・社会教育ではなくなり官庁のように思える。
- ・婦人会がなくなり、行事も減り、学級などもなくなり、行くことが減った。
- ・行く用事がない。行く理由がなくなった。
- ・行きにくくなった。用事がないと気軽に立ち寄ってみようと思えなくなった。
- ・職員の対応が悪い。（受付に背を向け挨拶がない。仕事をしないなど）
- ・雰囲気が悪い。
- ・減免がなくなり、使用料金がかかるようになった。



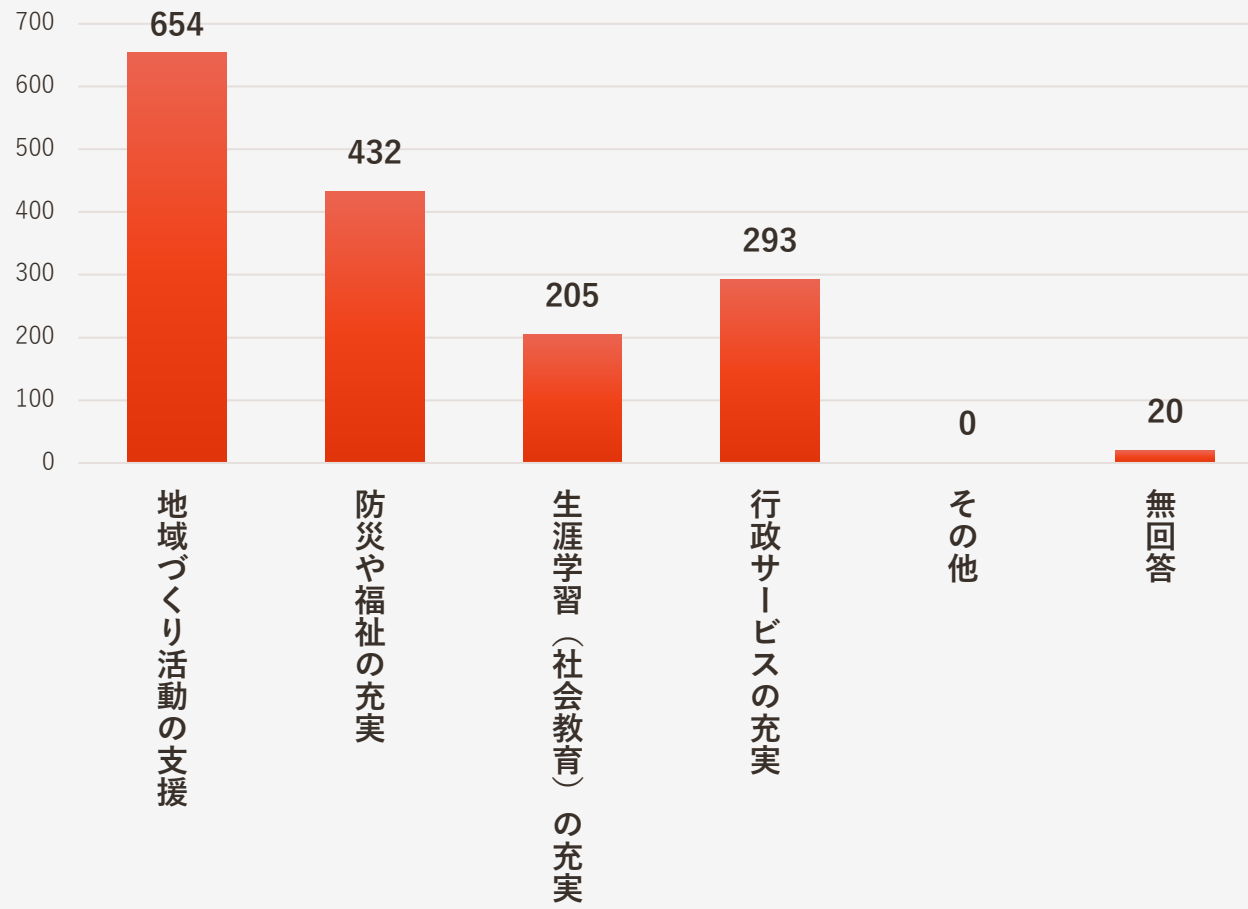
「利用頻度が減った」理由として、活動内容がわからない、休日の閉館、職員対応の不満などの回答であった。

問19 あなたが考えるあなたの地域の課題は何ですか？



「空き家の管理」が最も多い課題として挙げられており、以下「公共交通（移動手段）」「防災」「買い物」「働く場所」などの課題が上位を占めていた。

問20 あなたは、地域づくり活動センターにどのようなことを期待しますか？



■ センター化に向けて整備した4つの機能のうち、「地域づくり活動の支援」が最も期待される結果となった。

センター化に関する自由意見（各問いに記載されたものの抜粋）

- ・公民館としての活動も減り、ほとんどの活動の発信や申し込みなどがインターネットになった。地域の高齢化を考えると一概によくなったと言えない。また、高齢者の方と子どもたちとの交流も場も減った。インターネットを活用できる世代にはよいと思うが、昔ながらの文化も大切にしてほしい。そのため、高齢者であったり、インターネットを活用することが難しい方にとっても、公民館でない今の現状は、たいへん取っつきにくい。これら、地域に入ってきてくださる若い世帯にとってのみのセンターへなっていくように、高齢者を取り残していかないようにしてほしい。
- ・人の交りが多い機会が出来た。いろんな事を知り、身体健康にも良くなった。
- ・まだ、帰郷して1年半で、最初から関わる事が出来たので、日常的に行きやすい場所であった事がとても助かりました。
- ・地域任用職員なら自分の意見ばかり押し通すのではなく、もっと地域の意見を聞いてほしい。この1年間された行事はどれも地域のみんなが楽しめたと思えない。
- ・配属されてる主事が色々な団体の事務局等をしているが、まったく仕事をしない。また、大切な書類を紛失した等の話を聞いたりして、利用しようと思えない。
- ・センターで働いている人たちが好き勝手しているだけで不愉快
- ・在中している皆さんが話しやすく、温かい雰囲気ですごくいい。色々なお話も聞けたり相談したりできるので、もっと地域の人（特に若い人）に知ってもらいたい。

センター化に関する自由意見（各問いに記載されたものの抜粋）

- ・公衆トイレの清掃を委託されているが、トイレの不具合・清掃用具・洗剤・トレペ他の補充など活動センターに直接言えるので対応が早くなった。
- ・本当にやる気があるのだろうか？絵を描くだけの人材だろうか？真摯に汗をかいて取り組んでいるのだろうか？絵ばかりでは汗は出ない。
- ・ジオ活動は市職員のやる気の無さに無駄な経費が多い。
- ・まずは安定した雇用場を設けてみては？古民家再生や観光名所(ジオパーク)にムダな力を使うより人が住めるような街づくりをしていってみたいはいかがですか？
- ・活動センターになる前から地域づくり組織に入りたいと希望していますが叶わず、会議の傍聴も許可をいただけなくて残念です。地域づくりにたくさんアイディアがあるので組織に入れてもらいたいと思っています。